

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・資料やグラフから情報を正しく読み取る学習を繰り返したことで、読み取って情報を生かして自分の考えを書いたり話したりする児童が徐々に増えている。
- ・4、5、6年生では、本校独自の都道府県検定・県庁所在地検定の実施により、都道府県の名称や地図上での位置を正確に覚えることができた。
- ・学習の内容と身近な生活を結び付けた授業を展開したことで、身の回りの社会的事象に興味をもつ児童が増えた。

(2) 課題

- ・学習する単位によって、自らの生活と授業で学習する社会的事象を関連付けながら考えることに課題が見られることがある。
- ・世界で起こっている出来事に興味をもち、それと併せて世界の国々の名前や位置などを覚えていくことが大切である。
- ・グラフや地図など、複数の資料から複合的に情報を読み取り、それについて自分の意見を述べることに課題が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値をやや下回っている。		
第5学年	目標値を上回っている。	目標値を下回っている。 (第4学年時)	
第6学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。 (第5学年時)	目標値を上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四方位について理解している。 ・地図記号の意味について理解している。 ・工場での生産行程の理解について課題が見られる。 ・人々のくらしの変化への理解について課題が見られる。	・防火設備や、警察の仕事について理解している。 ・資料やグラフから分かることを表現することに課題が見られる。	・学習には進んで取り組んでいるが、自身の経験と結び付けて考えることや興味をもって調べ続けることに課題が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 5年生は、都道府県の位置や名称、八方位について知識の定着が見られる。災害時の組織的な対策についての理解には課題が見られる。 ・ 6年生は、日本の主な地形の名称と位置、水産業についての理解に課題が見られる。	・ 5年生は、複数の資料から情報を読み取ったり、工夫について考えたりすることができている。 ・ 6年生は、産業の特徴や生産の工夫について、資料をもとに考え、表現することに課題が見られる。	・ 学習のまとめとしての新聞づくりやスライド作りをする際には、興味をもって調べることができている。 ・ 様々な社会的事象への関心が高い一方、学んだ知識を自らの生活と結び付けたり、自ら情報を探したりすることには課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 都道府県・県庁所在地検定に向けて地図帳を活用し、地図上で名称や位置を繰り返し確認する。 ・ 体験的活動をできる限り取り入れ、自分の住む地域や社会的事象に関わる機会を多くして、自分の生活と学習した用語や事象を結び付けさせる。	・ 自分の住む地域（学区域・大田区・東京都）の社会的事象から、自分の考えをもち、表現できるような課題を設定する。 ・ グラフや図、地図などの資料から特色を見出し、考察する機会を多く設ける。 ・ 児童間の話し合いの機会を設定し、学び合いの場を設ける。	・ 新聞、ニュースなどの話題を取り上げたり、動画や資料を提示したりして、児童が興味・関心がもてるような導入を行う。 ・ 学習のまとめや見学の振り返りには、新聞作成やスライド作成を行い、自分の考えを発信する機会を作る。 ・ 学習計画を立て、自分で見通しをもって取り組み、自分の学び方を振り返る機会をつくる。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 既習事項を取り上げながら学習を進め、積み上げてきた知識・技能を確認する機会を多く作る。 ・ 他教科の学習の際、日本の地形や産業について関連する内容があれば、取り上げるようにする。	・ 視覚的に捉えられる写真や図表などの資料を的確に提示し、具体的なイメージを促す。 ・ 調べたことをもとに、その内容をまとめたり考えを述べたりする活動を意図的に取り入れる。 ・ 既習の学習事項や他教科の学習内容、時事問題との関連などを意識できる発問、補助発問を取り入れ、児童が自分の考えを積極的に発言できる場を作る。	・ 新聞やニュースの情報を共有し、社会的事象との関わりを範囲を広げていく。 ・ 「自分だったらどうするか」という、自ら社会に関わるようになる問いを提示する機会を多くする。 ・ 学習計画を立て、自分で見通しをもって取り組み、自分の学び方を振り返る機会をつくる。

